

市県民税の申告相談受け付けを開始

市県民税の申告相談受け付け

▼申告期間 1月31日(木) 3月15日(金) (土・日曜日、祝日を除く)

▼対象 ①給与支払報告書が勤務先から市に提出されていない方
②給与以外に所得があった方
③2力以上から給与の支払いを受けた方
④営業・農業・不動産などの所得がある方
⑤雑損・医療費・生命保険料・地震保険料などの控除を受ける方
⑥平成30年中に所得がなかった方
⑦非課税所得(障害・遺族年金、雇用保険、児童扶養手当など)があった方

※公的年金等の収入金額が四百万円以下であり、かつ公的年金等以外の所得が二十万円以下の方で、所得税の確定申告をする

必要がない方でも、控除を受けたい場合は、市県民税の申告が必要です。確定申告をする方は、市県民税の申告は不要です。申告の内容によって、税務署が開設する確定申告書作成会場に案内する場合があります。

▼持参するもの マイナナンバーカード、健康保険・年金・医療費等の領収書や、各種控除証明書、印鑑など
①給与所得者や年金受給者
Ⅱ源泉徴収票など
②自営業や農家の方Ⅱ収入金額や必要経費を記入した帳簿など
※マイナンバーカードをお持ちでない方は、通知カードまたはマイナンバーが記載された住民票の写しと、運転免許証・パスポートなどの本人確認書類をお持ちください。
※事業所得に係る収支、年間の医療費などは、あらかじめ整理・計算してお

持ってください。
▼申告方法 市県民税申告書に必要事項を記入し、1月10日付のお知らせ回覧文書で指定する日時・会場で申告
※申告期間中、同課では郵送の申告書のみ受け付けています。
○確定申告をする方へ
確定申告書に必要事項を記入し、早めに提出してください。なお、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で作成した申告書は、郵送や電子申告(e-Tax)で提出することができます。
○申告書作成会場を開設
申告書の受け付けや記載方法のアドバイスなどを行います。なお、混雑状況によっては、早めに当日の受け付けを終了する場合があります。
▼開設期間 2月18日(月) までご連絡ください。

3月15日(金) (土・日曜日を除く) 9時～16時
▼ところ イオンいわき店
※いわき税務署には申告書作成会場を設けていませんので、ご注意ください。
○お問い合わせ
・市県民税の申告
市県民税課
☎22・7426
☎22・7427
・確定申告
いわき税務署
☎23・2141

高齢者の障害者控除のお知らせ
長寿介護課介護認定係 ☎22-7475
65歳以上の方で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちでなくても、要介護認定(要支援認定を除く)を受けている方などのうち、障がい者に準ずるとして市の認定を受けた方は、所得税や市県民税の障害者控除を受けることができます。
※各地区保健福祉センターで認定の申請ができます。

地名の中の「いわき」

会社名となった「入山」

いわき地方では、明治時代以降、多くの会社が起業しました。その中には地名を由来にした例が数多く存在します。昭和和入絹(株)は昭和九(一九三四)年に錦村に進出すると、名称を昭和和入絹(株)錦工場とし、その後、生産機能の変化や、地域の変容を経て現在は(株)クレハいわき工場となっています。いわき地方の主要産業であった石炭産業も、磐城炭礦高坂坑、常磐炭礦川平坑など、炭鉱の坑口を設けた場所の地名を付けて採炭活動を展開しました。



入山採炭第三坑(入山坑)の風景。遠方に見えるのは湯ノ岳(明治時代末期絵はがき 清光堂支店発行)

地名には、地域の歴史を知るヒントが隠されています。市内各所の地名にまつわる由来などを紹介し「いわき」の歴史をひもときます。

このうち、明治二十七(一八九四)年に起業した入山採炭(株)は、地名を炭鉱名どころか社名にした最初の会社でした。「入山」は内郷村大字白水の一つの字名にすぎず、しかも、同社が最初に開削した坑口の場所は、同じ白水でも入山の西方に位置する「高倉」でした。将来は東進して入山を掘削する計画だったことから、これをにらんでの命名だったと思われる。

採炭は計画どおり入山の地下に達しましたが、大正時代初期には、同社はここを別会社で売り渡し、湯本村に進出します。そして、常磐炭田における二大企業として、磐城炭礦(株)と競い合った後、昭和十九(一九四四)年に合併して常磐炭礦(株)として発足し、現在の常磐興産(株)の基盤を築きました。

入山ではその後、中小の会社が入り替わりながら採炭が続きましたが、昭和三十年代にすべて閉山しました。現在は炭鉱開発以前の静かな場所に戻っています。(いわき地域学舎 小宅幸一)
※いわき市内の昔の写真をもちで、提供いただける方は、ふるさと発信課(☎22・7503)までご連絡ください。

連載シリーズ

大臣表彰

=年齢は11月21日現在。50音順・敬称略=
豊かなむらづくり全国表彰事業
農林水産大臣賞
▷貝泊コイコイ倶楽部
P T A活動振興功労者文部科学大臣表彰
▷伊藤順朗(46)=福島県私立幼稚園・認定こども園P T A連合会副理事長 小名浜
▷小林利明(58)=福島県P T A連合会前会長 小名浜
ボランティア功労者厚生労働大臣表彰
▷いわき音楽療法研究会ミュージックフォレスト

災害時における物資の供給協力等に関する協定を締結

11月20日、災害時における物資の調達体制のさらなる強化を目的に、イオンリテール株式会社と同協定を締結しました。
同協定に基づき、災害が発生、または発生のおそれがある場合、市民生活の安定を図るため、相互に協力して食料品や衣料品、寝具類などの生活物資の供給を行います。

災害時の物流機能の低下に備え協定を締結

表彰 いわき市民スポーツ栄誉賞

11月13日、平成29年に岩手県で開催された「第24回全国クラブチームサッカー選手権大会」に、東北地域代表として出場し、優勝を果たしたいわきF Cに市民スポーツ栄誉賞を授与し、その功績をたたえました。

大会2連覇を果たしたいわきF Cの皆さん